

【熊本県熊本市】体験プログラムシート

自治体の概要 主な特色 PR ポイント	熊本市は九州の中央に位置する人口約 73 万人の政令指定都市です。 熊本城（1607 年、築城主：加藤清正）の城下町として発展した歴史ある都市で、人口 50 万人以上の都市で唯一、全ての水道水が地下水で賄われており、蛇口からミネラルウォーター並みの水が出ることで知られている世界的にも珍しい都市です。 その水質の良さから、サウナー界隈で有名な「西の聖地」と呼ばれる天然温泉湯らっくすなどの著名な温泉施設や水源地があり、多くの観光客が訪問しています。 熊本市の産業は、製造業や卸売・小売業、医療・福祉、建設業、サービス業など多様な分野で構成され、事業所数や従業者数の面で幅広い産業構造を持つ都市です。  熊本城  成趣園
アクセス方法	羽田空港から熊本空港まで約 1 時間 30 分 熊本空港から熊本市役所（中心市街地）まで約 40 分 熊本駅から熊本市役所（中心市街地）まで約 15 分
主な地域課題	・全国の政令指定都市でワースト 1 位となる慢性的な交通渋滞が挙げられ、公共交通の弱さと利用離れへの対策が急務となっています。 ・熊本地震発災から 10 年の月日が経ち、災害に強い都市づくりも重要な課題となっており、防災力向上や迅速な復旧体制の整備が求められています。 ・少子高齢化や人口減少への対応も喫緊の課題で、子ども施策の強化が進められています。
受入時期	令和 8 年（2026 年）9 月～令和 9 年（2027 年）3 月
ワーケーション プログラム内容	■ 熊本市スタートアップ支援施設「XOSS POINT.」の視察・自治体職員などとの意見交換。（約 2 時間） XOSS POINT. ■ 熊本城、城下町の散策（約 2 時間） 熊本城を大切に思っている人たちが、地震の体験を通して学んだこと、感じたことを伝え、自分自身のこととして、防災意識や郷土愛について考えるきっかけを提供する。 【公式】熊本城 桜の馬場 城彩苑 トップページ ■ 熊本地震震災関連施設訪問（約 3 時間） 県内各所には平成 28 年（2016 年）熊本地震の記憶や経験、得られた教訓を後世に伝える回廊型のフィールドミュージアム「熊本地震 記憶の廻廊」があり、それらをめぐっていただくことで、熊本地震の被災の様子やその発生のメカニズム、および防災について学び、人と自然との共生のあり方についても考える。 ※なお「熊本地震 震災ミュージアム KIOKU（南阿蘇村）」を訪問、それ以外の箇所についても要提案。熊本市外（益城町・南阿蘇村を想定）でのプログラム実施。 KIOKU 熊本地震震災ミュージアム ■ 川尻散策（街歩き）（約 2～3 時間） 鎌倉時代から加勢川河口の港町として栄えた川尻、商人・職人文化が色濃く残る情緒漂う街。そのような歴史が残る街を知り尽くした「かわしり史跡案内人」と一緒に地域の歴史や魅力を感じていただくプログラム。 1867 年創業の蔵元「瑞鷹」の見学や、工芸品を知るための「くまもと工芸会館」の見学、和菓子作り体験など。歴

	史漂う川尻の足跡を辿る旅 - 熊本国際観光コンベンション協会 ※お打ち合わせの際に他のプログラムもご提案させていただきます。
宿泊施設	熊本市内のビジネスホテルなどはこちら。 熊本市内宿泊施設
主な対象事業者	・熊本県および熊本市に興味のある企業 ・地域理解・交流を通じた新たなビジネスの種を見つけたい企業
受け入れ上限数	10 名
未就学児の子供の受入	不可
事業者に期待すること	・熊本市内又はその周辺地域のスタートアップなどとのや共創や事業連携 ・熊本市内又はその周辺地域への支店や事務所等の展開 など
その他留意事項等	